

# [ 江別市 ] 施策達成度報告書

**政策** 01 環境と調和する都市の構築

**施策** 01 循環型社会の形成

主管課 環境室清掃管理課

## 施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (22年度)	施策の課題 (22年度)
大型ごみの戸別有料収集の開始 ( H22.10月実施 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発生・排出抑制の啓発・支援</li> <li>・集団資源回収の推進</li> </ul>

## 施策の目的

市民・事業者・行政の協働により、資源がリサイクルされ、ごみ排出量が減ることにより環境負荷の少ないまちを目指します。

## 対象 (誰を対象とした指標か)

市民、事業者、行政

## 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

資源がリサイクルされ循環し、ごみ排出量が減る。

## 施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
家庭系ごみ、事業系ごみ及び資源物排出量	t	42,539	41,837	42,419		41,966
市民1人当たりごみ排出量	g/日	724	713	724		720

## 施策の達成状況 (22年度)

ごみの排出量は、可燃ごみについては昨年夏の猛暑の影響などにより、不燃ごみについては大型ごみの収集開始などから微増となっています。今後もごみ減量化施策を進め、市民の減量意識の向上を図っていく必要があります。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	1,808,174	1,813,778	1,840,368
事業費(千円)	1,559,235	1,576,008	1,591,916
人件費(千円)	248,939	237,770	248,452

## 01 ごみの発生 排出の抑制

### 基本事業の目的

市民・事業者それぞれが、過剰包装の廃止や生ごみの堆肥化など製造・流通・消費過程での改善を行い、ごみを「つぐらない」「ださない」ことにより、ごみの発生量・排出量を減らします。

### 対象 (誰を対象とした指標か)

市民、事業者

### 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

ごみの発生量・排出量を減らす。

### 基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
家庭系のごみ排出量	t	32,575	31,770	32,140		32,050
事業系のごみ排出量	t	9,964	10,067	10,279		9,916

### 基本事業の達成状況 (22年度)

家庭系ごみ、事業系ごみ共に22年度については前年度と比べ微増となっています。これは昨年の猛暑の影響などにより、生ごみなどの排出量が増加したことや、家庭系、事業系ともに自己搬入量が多かったことによるものです。有料化による市民の減量意識の向上が一定程度進んだものと考えられることから、今後もごみ排出量の抑制を進めるため、市民に対する持続的な啓発活動を行うことが重要であります。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	19,770	26,095	31,824
事業費(千円)	1,514	1,109	1,684
人件費(千円)	18,256	24,986	30,140

## 02 ごみ資源化の推進

### 基本事業の目的

市民・事業者それぞれが、分別収集やリサイクルなど積極的にごみの資源化を推進することにより、再利用・再資源化率を増やします。

### 対象 (誰を対象とした指標か)

市民、事業者

### 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

再利用・再資源化量を増やす。

### 基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
回収資源化量	t	10,883	12,281	11,058		12,836
資源化率	%	25.6	29.4	26.1		30.6

### 基本事業の達成状況 (22年度)

集団資源回収量が減少傾向にありますが、これは社会環境の変化や資源回収ルートが多様化が進んだことが要因と考えられます。市の資源物収集量や資源物の回収拠点の状況を見ると、市民の資源化に対する意識が広まってきていることから、今後も市民に対する啓発活動を継続的に進めていくことが重要であります。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	98,642	78,390	81,188
事業費(千円)	53,833	51,792	54,307
人件費(千円)	44,809	26,598	26,881

基本事業の目的

市民・事業者環境意識の啓発を行い、地域全体で適切なごみ処理が行われるようにします。また、ごみの収集・運搬・処理・処分について効率的かつ適正に行い、安全・快適な生活環境をつくります。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民、事業者、行政

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

正しいごみ排出についての認識と減量化意識の高揚を図る。環境への負荷を極力低減するために効率的に収集し適正な処理・処分を行う。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
不法投棄処理件数	件	97	85	84		87
不適正排出処理件数	件	501	558	559		450
環境クリーンセンター運転停止日数	日	10	2	2		11.2以内

基本事業の達成状況 (22年度)

不法投棄や不適正排出処理件数に大きな変動がなく事業効果が現れている。なお、品目ではタイヤの不法投棄が多い。また、環境クリーンセンターの運転停止日数は、適切な運転管理が実施されていることなどにより、最小限のものとなっている。今後も適切な運転が確保されるよう施設運営のモニタリングを継続していく。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	1,552,092	1,526,651	1,544,463
事業費(千円)	1,427,623	1,409,781	1,418,200
人件費(千円)	124,469	116,870	126,263

基本事業の目的

対象 (誰を対象とした指標か)

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	年度	年度	年度	後期目標値

基本事業の達成状況

基本事業コスト	年度決算額	年度決算額	年度当初予算
トータルコスト(千円)			
事業費(千円)			
人件費(千円)			